



## 再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局環境安全課  
担当課長名：安藤 淳

<b>事業名</b> 地域高規格道路 金沢能登連絡道路 主要地方道 金沢田鶴浜線	<b>事業区分</b> 地方道	<b>事業主体</b> 石川県
<b>起終点</b> 自：石川県金沢市粟崎4丁目 至：石川県河北郡内灘町大根布		<b>延長</b> 3.4km
<b>事業概要</b> 主要地方道金沢田鶴浜線は、延長60kmの金沢能登連絡道路の一部を形成する3.4kmの地域高規格道路である。本路線の整備により、県都金沢から能登地域へのアクセスが強化され、金沢市街地に流入する交通を分散することにより、周辺道路の慢性的な渋滞の緩和が図られる。		
<b>H18年度事業化</b> 都市計画決定なし		<b>H18年度用地着手</b>
<b>全体事業費</b> 52億円		<b>事業進捗率</b> 76%
<b>計画交通量</b> 21,600台/日		<b>供用済延長</b> 0km
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 3.8 (残事業) 12.1	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 19/59億円 (事業費：11/51億円) (維持管理費：7.7/7.7億円)
		<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 228/228億円 (走行時間短縮便益：208/208億円) (走行経費減少便益：9.9/9.9億円) (交通事故減少便益：9.9/9.9億円)
<b>基準年</b> 平成23年		
<b>感度分析の結果</b> 【事業全体】交通量：B/C=3.4~4.3(交通量±10%) 事業費：B/C=3.6~4.2(事業費±10%) 事業期間：B/C=3.3~4.2(事業期間±20%)		
【残事業】交通量：B/C=10.7~13.4(交通量±10%) 事業費：B/C=9.6~16.2(事業費±10%) 事業期間：B/C=10.8~12.8(事業期間±20%)		
<b>事業の効果等</b> ・県都金沢と能登地域の連携強化（地域高規格道路整備区間指定 金沢市～河北郡内灘町 3km H18.3） ・市街地に流入する交通の分散による周辺道路の渋滞緩和及び沿道環境の改善 ・重要港湾金沢港へのアクセス強化		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> ・金沢市などで構成される「地域高規格道路金沢能登連絡道路整備促進期成同盟会」から早期整備の要望を受けている。		
<b>事業評価監視委員会の意見</b> ・事業継続は適当と認める。事業の実施にあたっては社会的情勢の変化を踏まえ、より効果的、効率的な事業の実施に努めること。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ・平成19年1月コマツ金沢工場稼働 ・平成20年11月金沢港国際ターミナル供用 ・平成25年4月能登有料道路無料化		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 【事業執行額】事業費約39億円（進捗率76%）、うち用地費11億円（進捗率100%）		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ・これまでに全ての用地買収を終え、全区間において本格的に工事着手しており、平成25年3月末の暫定供用に向け、順調に進捗している。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> ・近接する金沢港の浚渫土砂を盛土材に転用し、コスト縮減を図っている。		
<b>対応方針</b> 事業継続		
<b>対応方針決定の理由</b> ・以上の事業効果及び公共事業評価監視委員会における審議結果からも整備の必要性は高く、事業継続と判断した。		
<b>事業概要図</b>		
		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。